様式３(2020.08改)

作成日　令和 4　年 1 月 12　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394100206
事業所名	グループホーム　いこいの家東海

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	・事業所周辺は区画整備事業等が進み地域の状況も変わりつつある。それに加え近年はコロナ禍で行事の中止や運営推進会議も外部からの出席がない状態が続き地域との付き合いは希薄になっている。日々の散歩等で出会う人と距離を置いた挨拶程度となっている。 ・環境が整えば、地域との付き合いを深め交流を進めていくために、町内会への加入を模索したり、近くに移転してくる保育園児との交流等を楽しみにしている。 ・「子ども110番の家」に登録をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み　（外部評価項目：３）	
	・通年では入居者や家族、町内会長、民生委員、包括支援センター職員の参加を得て2か月に1回開催しているが、現在はコロナ禍にあり、外部からの参加は得られていない。書面開催となり、家族や行政からは電話やメールで意見や要望を聞き、職員間で話し合い運営やケアに活かしている。 ・議事録は家族や行政に報告している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	・担当窓口には介護保険の更新手続きや代行等で訪れ、同時に情報交換を行っているが、コロナ禍の為最小限度となり、多くはFAXや電話連絡となっている。　・研修はリモートで行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	・入居者からは日々の生活の中で思いや希望を聞き記録に残して職員間で共有しケアに活かしている。更に、詳細な情報を得るため担当制としている。 ・家族からは、コロナ禍で面会や家族会が規制される中、ガラス戸越しの面会を工夫したり電話やメールで意見や要望を聞きいている。得られた意見や要望は記録をし、カンファレンス等で検討して運営やサービス向上に反映させている。 ・ご意見箱を設置している。 ・家族向けのホーム便りを定期的に発行し家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で先が見通せない中、入居者が安心して楽しく暮らせるためにどの様な事をしていけば良いのか、試行錯誤を繰り返しながら支援に努めている。区画整備後の地域との連携に期待をし、方法を検討している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	－	○									